



MJCC マニラ日本語キリスト教会

新しい2020年を迎えて

年間聖句

**主とその御力を尋ね求めよ。
絶えず御顔を慕い求めよ。
(詩篇105篇4節)**

MJCCが長老制に変わって初めての会員総会を迎えるこの新年度2020年です。4人の長老は1年を振り返って話し合いを重ね祈りました。主をもっともっと知りたい、知らなければいけないという思いが湧き上がってきました。そして新しい人が増し加わるようにという願いも与えられました。そこで年間聖句として与えられたのが詩篇105篇4節です。私たちが本当に必要なのは、イエスご自身であることをもう一度心に留めていきたいと願っています。

新しい年への展望

昨年スタートした4つのミニストリー・グループ (MG) への充実を図ることは不可欠です。特に一つ一つのMGの存在目的を明確にし、共有して行くことの大切さを覚えています。今まで続けてきた活動内容をその目的に従って見直すように導かれています。

1月26日に開催された会員総会では、2019年度の感謝な報告と足らなかったことを思い起こしながら主の恵みに感謝しました。この新しい年、MJCCの一人ひとりが主とその御力を尋ね求め、絶えず御顔を慕い求める一年でありますように。

自然災害に向き合う教会を目指して

フィリピンの2020年は思いがけないタール火山の噴火というニュースで始まりました。マニラから南方60km程に位置するタール火山は、世界で最も小さい火山でありながら、昔から謎とも言われるほど非常に複雑な地質があり噴火の勢力の強さでも知られています。ご存知の方も多いと思いますが、タガイタイは素晴らしい景色の火山湖に浮かぶタール火山を展望できる観光地のメインスポットです。すでに、多くの被害が出ており、政府機関も他の団体もよく動いて救援物資を送っています。ただ、この噴火活動は収束しておらず、まだ火山性地震が続いており、もっと強い噴火が起こる可能性も予期されています。この被害に対して、MJCCでも祈りを共にし、古着を集めたり、募金をしてできる限りの支援を続けています。

昨年末に日本での台風や豪雨による被害に対して同胞の犠牲者のために祈り、支援のために義援金をお送りするように導かれました。

地球温暖化の影響も含めてこれからも世界で起きている数々の自然災害に対してふさわしい対応ができるように小さな群であってもMJCCに主において知恵が与えられ、祈りを持って支援を続けられるように願っています。



原田美樹恵さん、80歳（傘寿）のお誕生日おめでとう

1月19日、幸いにも丁度原田さんのお誕生日が日曜日と重なりました。MJCCで初めての80歳の誕生会を一緒にお祝いすることができたことは、大きな喜びでした。サプライズでびっくりされたようですが、和やかな楽しいお祝いの時となりました。CSの子供たちが可愛いレイを作って特別プレゼント。また、4人の長老の振り付け付きの元気な賛美は大受け？でした。

原田さんは、ご主人のお仕事でマニラに派遣された時にマナの会に出席されるようになりました。ご主人は退職後も続けてボランティアとして比国科学技術省の研究に20年も貢献されました。ご主人が数年前に他界された後、おひとりでマニラ滞在になり、日曜日の礼拝に出席に導かれ、教会の家族の輪の中に入って下さいました。神様が続けて原田さんを霊肉ともに豊かに祝福し、お元気で健やかに過ごされるようにお祈りしています。



1. ファミリークリスマス & 祝会12月8日

礼拝と祝会の2部制の新しい形にして2年目を迎えました。前半の部「礼拝」では「ユダヤの王を礼拝した博士たち」と題して、梅澤兄によるクリスマスメッセージ。世界で一番初めにイエス様にプレゼントをした人は誰かを学びました。後半の部「祝会」では、CS生徒たちのペープサート劇、ユースも同じくペープサート劇（偶然?）、キュートな姉妹のヴァイオリンとピアノ演奏、素敵な紙切りストーリーと（種明かし付）マジックショーがありました。最後に全員で「素晴らしいホーリーナイト」を賛美して楽しいクリスマス会が終了しました。今回はUCMにあるミニ・サンクチュアリという広々としたスペースを使うことができました。クリスマスの本当の意味をお伝えするために、次回をもっと多くの家族や友人をお招きし、会場をいっぱいにすることができるように祈っていきます。

ヴァイオリ&ピアノ演奏



ペープサート劇



紙切りストーリー



マジックショー



2. クリスマス燭火礼拝

「きようダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。」ルカの福音書2章11節

2019年12月22日主日礼拝に、クリスマス燭火礼拝を行いました。キャンドルサービス（今年は蝋燭ではなくLEDの光の中）では選ばれた兄弟、姉妹が順に聖書朗読をし、皆で賛美を捧げ、イエス様のご降誕を心から喜び祝う時を持つことができました。

バイブルタイムでは、馨先生によるヨハネの福音書1章1～37節から、神様から遣わされたバプテスマのヨハネの証からクリスマスの意味をより深く学ぶことができました。

新しい方々も出席していただき、持ち寄りの御馳走をいただきながら楽しい交わりの時が与えられました。

主イエス・キリストのご降誕は神様からの最高の贈り物である事を覚え、その偉大なる愛に感謝し、信仰生活の糧にしながら主と共に歩んでいけるように願っています。



3. 2019年の恵みを感謝して

12月29日は2019年最後の主日礼拝でした。恒例の賛美と証の時をご一緒に持てたことを感謝します。年末年始にマニラに訪れているゲストの方も加わり、2019年に「今月の賛美」として取り上げた12カ月分の全12曲を神様に向けて心から賛美を捧げました。

証では、10名の証をお聞きすることができました。病気の中にある姉妹への思いと主への期待、主に仕えるための残された時間は限られているという思い、家族にあった確執に主が介入して下さったことへの感謝、新年へ受洗の希望、など主からいただいた沢山の恵みを分かち合うことができました。生きて働いてくださる神様に感謝！

「あなたの神、主は生きておられます」列王記上17:12